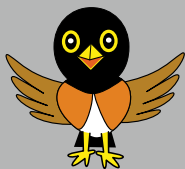


こっこめ通信 05 2018

「子育てを見守って」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

2017 秋- 2018 春シーズンの八丈小島のクロアジアホウドリは 7 羽のヒナが順調に育っています。八丈小島から旅立つまであと 1 ヶ月ちょっと、無事に巣立ってくれることを祈ります。島に降り立っている成鳥の数も増えてきているので、この秋から始まる 2018 秋- 2019 春シーズンの繁殖・子育ても期待が持てそうです。

さて今回は、「水槽の中の出来事」「写真展示『島の鳥』」「春の渡りではこんな鳥が来ました」についてのお話です。

水槽の中の出来事

展示水槽の中の生きものは長い期間飼育していると水槽に慣れ、いろいろな出来事が起こります。そのひとつが繁殖！ゴカイの仲間やイソコモチクモヒトデなどは繁殖を繰り返し、いつの間にか増えています。

昨年 9 月に採集したオオスジイシモチが産卵したのは 4 月 17 日の夜でした。この仲間は産卵した卵をオスが口の中で孵化するまで育てます。産卵してすぐの卵はオレンジ色（写真右上左側）でしたが、段々と色が変わり卵の中に目が見えてきます（写真右上右側）。口の中で育てている間、時々大きく口を開けて卵の位置を変えていました。4 月 26 日の夜に孵化したようなので、オスは 9 日間絶食して頑張りました。また、タツノオトシゴの仲間のノコギリヨウジもいつの間にかオスの保育嚢に卵が入っていました（写真右下）。

不思議な愛もあります。コウワンテグリのオスは背ビレを大きく広げ、種類の違うミヤケテグリのメスに猛アピール！（写真左上）夕方には 2 匹が寄り添って水面まで泳ぎ、産卵行動もしています。実は過去にも同じ組み合わせで産卵行動を行っていたことがありました。実際に産卵に至ったかは確認できていませんが…。

水槽の主のカタボシオオモンハゼ夫婦に至っては何度も産卵しています。砂の上に円形状に産んだ卵を守っている場所がオスの定位置になっています。左下の写真も胸びれの下に卵を守っているところです。

残念ながら孵化後は他の生きものに食べられてしまうことが多く、いままで水槽内では育っていません。



「アカコッコ」は日本固有のヒタキ科（旧ツグミ科）の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

写真展示「島の鳥」

展示「島の鳥」は、「野鳥を通してそれを取り巻く環境の自然保護の大切さを知り広めていくこと」を目的とする愛鳥週間（5月10日～16日）に合わせて企画しました。展示期間は4月21日から5月20日までです。

「鳥も通わぬ八丈島」と歌われていますが、春や秋にはいろいろな鳥が渡ってきます。この写真展示は、一年を通して島で見られる鳥や渡ってきた鳥など、島民の方が撮影した様々な鳥の写真を中心にビジターセンター職員の写真も加えて製作しました。写真のタイトルは撮影した鳥の名前、その写真の下には撮影した方にその鳥の特徴や撮影時の様子などを書いてもらいました。7名の撮影者で、24種を紹介しています（写真下中）。

写真展示をしているボードの右側には、ビジターセンター職員が平成29年度八丈島PTA連合会作品展のために製作した「ことりのき」も展示しています（写真下右）。八丈島と八丈小島で撮影した20種の野鳥の正面顔の写真を木に飾った作品です。また、ボードの左側には日本野鳥の会が20年以上続けている「野鳥の子育て応援（ヒナを拾わないで）キャンペーン」のポスターを掲示し、落ちていたヒナに遭遇した時の対応の仕方がわかる「ヒナとの関わり方がわかるハンドブック」もプリントして見られるようにしました。毎年、繁殖の時期になるとヒナを拾ってしまいう事例があるので、この展示を見て見守って欲しいと思います。島で撮影したイイジマムシクイとモスケミソサザイ、トラツグミ、キジバトのヒナのかわいい写真も貼ってありますよ（写真下左）。

来年度以降は写真を広く募集して、たくさんの人の写真を飾りたいと思っています。ご協力お願いいたします。



春の渡りではこんな鳥が来ました

今シーズンの春の渡りは例年に比べて鳥の数が少ないように感じます。例年、海岸や鴨川周辺、和泉親水公園などで見られるシギやチドリ、カモの仲間がほとんど見られません。そんな中、島では珍しいシメが群れで渡って来て、1ヶ月以上滞在しています。滞在中は植物公園内にいることが多く、スダジイの枝先で鳴きながら虫を探していました。ホシムクドリ、セイタカシギ、ヤツガシラは例年通りの飛来となっています。

上記以外の渡って来た鳥：オナガガモ、コガモ、ミゾゴイ、ゴイサギ、アマサギ、アオサギ、チュウダイサギ、チュウサギ、コサギ、アマツバメ（夏鳥）、ムナグロ、コチドリ、メダイチドリ、チュウシャクシギ、クサシギ、タカブシギ、イソシギ、キョウジョシギ、アオバズク（夏鳥）、ツバメ、イイジマムシクイ（夏鳥）、ムクドリ、コムクドリ、ツグミ、ノビタキ、キセキレイ、アトリ、カワラヒワ（夏鳥）など。



八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。今回は4月8日に行いました。

八丈植物公園季節調査（平成30年第4回）調査者：沖山、青木、VC菊池、VC鈴木

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草本			34	トウバナ	花と実	12	ハゼノキ	蕾
1	アオスゲ	実	35	トキワハゼ	花	13	ハチジョウイボタ	蕾
2	アツバスマシ	花	36	トゲナシサルトリイバラ	花	14	ハチジョウキブシ	花
3	イワニガナ	花	37	ネジバナ	蕾	15	ハチジョウクサイチゴ	若い実
4	ウスベニチチコグサ	蕾	38	ノジスマシの仲間	花	16	ヒサカキ	若い実
5	ウスベニニガナ	花と実	39	ハキダメギク	花	17	ヒメユズリハ	蕾
6	オオシマカンスゲ	実	40	ハナイバナ	花	18	モチノキ	若い実
7	オオバコ	花と実	41	ハハコグサ	蕾	19	ヤツデ	熟した実
8	オオマツバウンラン	花	42	ハルジオン	花	シダ植物		
9	オニタビラコ	花と実	43	ヒナギキョウ	花と実			
10	オランダミミナグサ	花	44	ヒメコバンソウ	実	1	オオイタチシダ	
11	カスマグサ	花と実	45	ヒメスマシ	花と実	2	オオタニワタリ	新葉がゼンマイ状
12	カタバミ	花と実	46	ヒメツルソバ	花	3	オニヤブソテツ	新葉
13	カラクサガラシ	花と実	47	フウトウカズラ	熟した実	4	タチクラマゴケ	孢子葉
14	カラスノエンドウ	花と実	48	ヘビイチゴ	実	5	タチシノブ	
15	キュウリグサ	花	49	マツバウンラン	花	6	タマシダ	
16	キランソウ	花	50	ミゾイチゴツナギ	花と実	7	ナチシケシダ	新葉
17	ケキツネノボタン	花と実	51	ムシクサ	実	8	ナチシダ	新葉
18	コケリンドウ	花	52	ムラサキカタバミ	花	9	ノキシノブ	
19	コナスビ	花	53	ヤエムグラ	花と実	10	ハチジョウカナワラビ	
20	コハコベ	実	54	ヤマヌカボ	花	11	ハチジョウシダ	
21	コマツヨイグサ	花	木本			12	ハチジョウベニシダ	新葉が展開
22	コメツブツメクサ	花				13	ヒトツバ	
23	シチトウスミレ	花	1	アオキ	花	14	ホシダ	
24	シロバナマンテマ	花と実	2	イヌビワ	花と実	15	ホラシノブ	
25	スズメノカタビラ	実	3	エノキ	花	16	ミゾシダ	新葉が目立つ
26	スズメノテッポウ	花	4	オオシマザクラ	若い実	17	ヤマイタチシダ	
27	スズメノヤリ	実	5	ガクアジサイ	蕾	18	スギナ	
28	セイヨウタンポポ	花	6	カジイチゴ	若い実	今回はシダ植物18種を含む、91種の植物を観察しました。またハチジョウカラスアゲハの美しい雌や、おかしな形をしたアケビコノハの幼虫も見られ、昆虫でも盛り上がりました。		
29	タチイヌノフグリ	花と実	7	クワ sp.	花			
30	タネツケバナ	花と実	8	サカキカズラ	蕾			
31	チチコグサ	花と実	9	スダジイ	花咲き始め			
32	チチコグサモドキ	蕾	10	タイミンタチバナ	若い実			
33	ツメクサ	実	11	トベラ	花			

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、展示水槽でも飼育している「イソスジエビ」にスポットを当ててみたいと思います。



イソスジエビ

Palaemon pacificus

テナガエビ科のエビ。北海道以南の潮間帯で普通に見られ、八丈島でも潮だまりなどで一番よく見られるエビ。

体は透明で、黒い横縞模様が多数有り、その間に黄色い斑があります。オスよりもメスの方が体が大きくなります。島でも捕まえて唐揚げにして食べている人がいるとかいないとか…。

2018 八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

5

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	立夏 5
		05:14 11:48 18:32	05:39 12:19 19:10	06:05 12:51 19:48	06:31 13:24 20:28	06:59 14:01 21:14
6 「バードウォッチング入門」 「体験八丈太鼓」	7	8	9	10	11	12 ガイドウォーク
07:28 14:42 22:11	08:02 15:32 23:26	08:55 16:43	00:45 10:57 18:10	01:43 13:08 19:27	02:24 14:25 20:26	02:57 09:14 15:20 21:15
13 ガイドウォーク 植物公園季節調査会	14	15	16	17	18	19 ガイドウォーク
03:28 09:47 21:57	03:58 10:22 22:38	04:28 10:57 23:17	04:58 11:35 23:55	05:30 12:15 19:15	06:04 12:57 20:06	06:39 13:43 21:01
20 ガイドウォーク	小満 21	22	23	24	25	26 ガイドウォーク 八丈学講座 「海藻を調べよう」
07:19 14:34 22:01	08:09 15:33 23:09	04:36 09:25 16:42	00:17 11:28 18:00	01:14 12:22 19:15	01:58 08:34 14:41 20:17	02:35 09:14 15:39 21:08
27 ガイドウォーク	28	29	30	31		この色の日は ガイドウォークや 特別行事があります
03:08 09:49 21:52	03:39 10:22 22:31	04:09 10:54 23:07	04:39 11:26 23:42	05:09 11:58 19:00		

イベントプログラム

GW特別行事 「バードウォッチング入門」	植物公園の中でバードウォッチングの入門編です。シチトウメジロやアカコッコが見られるといいね。 5/3～6（10：00～ 約1時間半）小学生以上（小学3年までは保護者同伴） ビジターセンター集合・解散 無料 定員：10名 雨天中止
GW特別行事 「体験八丈太鼓」	両面から打つ、島の太鼓を体験してみませんか？日頃のストレスを発散しよう！ 5/3～6（13：30～ 随時） だれでも ビジターセンター入口にて 無料 雨天中止
GW特別行事 「草木染め体験」	絹のハンカチをコブナグサで染めます。輪ゴムの絞り染めでどんな模様が出来るかな？ 5/3（13：30～ 約1時間半）小学生以上（小学3年までは保護者と一緒に一枚） ビジターセンターにて 参加費：1000円（材料費込み） 定員：10名
GW特別行事 「早朝探鳥会」	早朝のホタル水路周辺で、春に渡ってきた鳥たちや伊豆諸島ならではの鳥などを観察します。 5/4（6：30～ 約1時間半）小学生以上（小学生は保護者同伴） 雨天中止 和泉親水公園駐車場 集合・解散 参加費：50円 定員：20名
GW特別行事 「沢の小径・探鳥会」	三原川流れる沢の小径での探鳥会。伊豆諸島亜種のミソサザイやヤマガラ、コマドリを探しましょう。 5/4（13：30～ 約2時間）小学生以上（小学生は保護者同伴） 中之郷：えこ・あぐりまーと 集合・解散 参加費：50円 定員：10名 小雨決行
GW特別行事 「海岸で遊ぼう」	海岸を歩きながら、いろいろな生きものを観察！石積み大会もやりましょう！ 5/5（13：30～ 約2時間）小学生と保護者 現地 集合・解散（当日決定、予定：ヤケンガ浜） 参加費：50円 定員：5組（最大12名） 雨天中止
植物公園季節調査会	植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！ 5/14（13：30～ 約1時間半）中学生以上 ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名
八丈学講座 「海藻を調べよう」	毎月行っている八丈学講座。今月は、海岸にある海藻を調べます。島にはどんな海藻があるかな？ 5/27（13：30～ 約1時間半）中学生以上 現地 集合・解散（当日決定、予定：大湯浦） 参加費：50円 定員：15名

ビデオプログラム

- 10：00～ 八丈・海・生きものたち
 - 11：00～ おじゃりやれ 八丈島
 - 14：00～ おじゃりやれ 八丈島
 - 15：00～ おじゃりやれ 八丈島
 - 16：00～ 八丈・海・生きものたち
- 上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2018.5.1 第204号

開館時間 9：00～16：45 年中無休（入館無料）
〒100-1401
東京都八丈島八丈町大賀郷2843
電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888
E-mail：info@hachijo-vc.com
http://www.hachijo-vc.com

編集後記

□内保育が終わったオオスジシモチのお父さんはいつも以上にご飯を食べていました。しかし、そこに寄り添ってくるお母さんのお腹には次の卵が…。お父さんは「もう少し待ってくれ～」と離れていきます。二日後の28日、来館者の対応をしている間にお父さんの口の中には卵が…。断食生活はじまりました。(高)